

平成 年度 技術士第二次試験 模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	Ⅱ-1-

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

※
---

○受験番号、問題番号、技術部門、選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。  
 ○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。(英数字及び図表を除く。)

①	モデル化の目的
・	概念データモデル：対象範囲にある業務プロセスを抽象化し、業務全体を俯瞰できるモデルを構築する。
・	論理データモデル：概念データモデルの詳細化、正規化を行い、必要最小限のデータで、安定したデータモデルを構築する。
・	物理データモデル：概念データモデルを基に、アクセス方式と格納方式を考慮し、実装技術に沿ったモデルを構築する。
②	モデルを構成する要素と意味
・	概念データモデル：対象範囲にあるデータ群を実体、実体の主要属性である識別子、実体間を結ぶ関連から構成される。
・	論理データモデル：現行システムの画面や帳票等から抽出した実体、実体間を結ぶ関連から構成される。
・	物理データモデル：使用するRDBのテーブル構造、データ型、インデックスなどから構成する。
③	モデル化において注意すべき事項
・	概念データモデル：全体の整合性を検証し、業務に適合しているかをチェックする。
・	論理データモデル：データ重複の排除、業務プロセスの変更に対応できる安定性を考慮する。
・	物理データモデル：データベースの処理効率と、歩保守効率について考慮する。